

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	統合型地理情報システム構築事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	秘書広報文書課		包含する細々目	1	2	1	13	10	17	2,723
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	93 良質な行政サービスの提供											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条列等		飯田市情報化アクションプラン 土地利用計画				
		事業期間	16	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	情報系LANで運用される地理情報システム	情報系GISのサーバおよびクライアント数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			16	31			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・統合型のWebシステムへ移行し、庁内全体で使用可能なシステムとする。 ・公開可能なデータについてはインターネット上で市民に公開する。	部署間で共用したデータの数	18目標	5	最終目標		
			18実績	5	19目標	5	↑ 最終目標達成年度
		インターネット上で公開したデータ数	23目標		23実績		
			18目標	1	最終目標		
			18実績	1	19目標	1	↑ 最終目標達成年度
		23目標	4	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	当市のGIS(地理情報システム)は、複数の業務部門が個別にシステムの導入を行い、運用を行っていた。このうち情報系LANで運用を行っているシステムについては、平成16年度にサーバを設置し統合型GISへ移行した。今後Web型への移行を行い、庁内全体で活用可能なシステム構成とする。また、公開可能なデータについてはインターネット上で公開を行う。	18年度の実績 19年度計画	・統合型GISの庁内利用に関する検討。 ・GISの使用に関する説明会の開催	検討会議等の回数
		・統合型GISの庁内利用及び、Webシステム化に関する検討。	検討会議等の回数	8

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	2,371	2,723
	事業費計(A)	2,371	2,723
人件費	正規職員所要時間	18年度 60	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	215	715
	トータルコストA+B	2,586	3,438

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行うサービスが的確に提供される。	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(窓口サービス)	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<ul style="list-style-type: none"> 個別に導入を行ったGISのデータ更新や運用方法について、統一して調整を行う必要が生じた。 GISが導入されていない部署においても、GIS導入の希望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 2村との合併のため、地理情報を整備する必要がある区域が拡大した。 導入システムの開発業者が、19年1月末に倒産した。 	特になし。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	導入済みGISの業者が倒産したため、今後の市内GISの運営方針を検討する必要がある。 複数のGIS利用部署および産業振興担当部署等との調整が必要となる。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	